

市民の食と健康、文化を守る。

- 01 税金の使い方の透明化
市が定める美術館建設などの事業の決定方法の正常化、税金の使い方の透明化と適切な使い方の実現。
- 02 給食の質を向上
義務教育の給食無償化から、安全・安心・質の高い給食へ、高校生への有償提供。
- 03 命と健康を守る
有益と思われる情報を、市民に適切に伝え、市民のいのちと健康を守る。
- 04 水と公共資産を守る
公共物の民間化・指定管理制度を見直す。いのちの根本・豊かな水・未来の子どものため、保育園・図書館を守る。
- 05 農業の未来を守る
農業の振興、全農系・農業を志す若者に公務員並みの最低限の収入を保証し、未来の日本のために食糧自給率を引き上げる。
- 06 文化を誇るまちづくり
中野市の宝・学生時代の輝き・要林・南大原通商や菊池英月など、市民に誇りを生み出し、文化を誇るまちをつくる。
また、公文書の適切な管理と公開のため、既存取扱を行った公文書の開設をめざす。



くろいわたかしプロフィール

昭和38年6月13日
木島平村生まれ・中野市在住30年

■学歴
・慶応義塾大学 文学部史学科卒業
・信州大学大学院 教育学研究科修了

■職歴・活動
・長野県中野農業・須賀東・北部高等学校で20年間 地産・公民教諭、兼講師・男子バレーボール部監督
・環境文化財の発掘・調査研究に従事(約30年)
・民間・自治体関係部署を歴任
・長野県立歴史館にて史料の調査・収集・公開・研究に従事

■資格
・区公民館分館長として地域文化に貢献
・地域育成会会長などで地域活動に貢献
・博物館学芸員
・英語検定



くろいわたかし

実績で未来への挑戦 夢ひろく、故郷。

“緑豊かなふるさと 文化が香る元気なまち”

- 1 議員数削減
現在20議席を16議席に
- 2 文化芸術・スポーツ
観光・農業の振興
交流人口拡大による経済効果
- 3 福祉の拡充
あらゆる世代に寄り添う
いじめ問題・雪害対策、不登校児対応

4期16年の実績



高野よしき

令和八年四月二十六日執行

中野市議会議員一般選挙公報

公約の6つの

1. 高齢者活躍
 - ・外出・運動機会創出
 - ・心豊かな生活環境の提供による
①町交遊、スポーツ・健康活動
②地域交流
2. 産業振興
 - ・企業誘致・流入人口の増加・雇用創出
 - ・産業・商工業界との協業推進
 - ・就業マッチングプラットフォームの創設
 - ・健康課題の課題解決
 - ・健康課題に連携し
健康増進を支援
3. 福祉の充実
 - ・障がい児・者にやさしい
まちづくり
 - ・重度の身体障がい児・者の
教育・生活の困難さの軽減
 - ・びわろワークの活性化対策
 - ・ケア付住宅の
供給促進
4. 虐待対策
 - ・長官特別委員会・虐待防止への
検討検討
 - ・ハンターへの切り手絶滅
 - ・児童虐待防止の推進
5. 議員定数削減
現在の定数20
全国116市
人口5万人未満の市で定数16.8人
人手不足解消・女性議員の
切り手絶滅を目指す
6. 保護犬・保護猫等の
譲渡推進
 - ・保護猫譲渡・譲渡先へ
継続的ケア
 - ・動物譲渡に協賛する企業



ありむらみづみ

市民の声が届く市政と市議会を 美術館と給食センターは見直しを いまからでも

もっと住みよい中野市へ

- 「市民アンケート」では「生活が苦しくなつた」との回答が8割近くとなりました。物価高に悲鳴が上がっています。日本共産党・阿部みづみからは、お寄せいただいたご要望、ご意見を「提案」をしっかり受けとめ、必ず市政運営に届けます。阿部みづみのりの提案
- 働きながらの子育て支援
祝い金の創設
- 高齢者に安心を
後期高齢者医療保険料介護保険料
国保税の引き下げ
補聴器購入に補助を
- くらし応援
除雪など雪害対策の強化、
公共交通の充実
- 農業の価格保証と所得補償
担い手対策、農業資材高騰の補助を
- ジェンダー平等の推進
女性が8割を占める非正規
市職員の待遇改善

プロフィール
昭和25年、竹原生まれ。須賀高校卒。市連合青年団長。中野土地改良区理事。現在、中野市議4期。家族は妻と次男。

イラン攻撃中止、交渉による停戦 // 平和の願い日本共産党へ



阿部のみづみ

日本共産党

市民の声に真正面から向き合い いま動かし、未来を変える

中野市を、前へ！

- にぎわいを取り戻す
 - ・市民の想いを市政に活かしたまちづくり
 - ・スポーツの力で地域を活性化
 - ・稼げる産業を育てる
- 子育て・教育を軸に未来を切り拓く
 - ・教育環境の抜本的な充実
 - ・通学路の安全対策を徹底
 - ・子どもの居場所作りを推進
- 誰一人取り残さない中野市へ
 - ・高齢者・障害のある方も安心の暮らし
 - ・防災・防犯対策を強化
 - ・災害に強いインフラ整備
 - ・支え合う地域社会の実現

塚田かずお【公式】LINE



塚田かずお

ふるさとに しあわせと元気を

「やる気」が触媒です。
議会に活力、市政に創造。
あなたの一票が市政を変えます！

「しあわせ」の三要素は、「健康と福祉」「子育て」そして「地域経済」です
【チャレンジしたい事 CHALLENGE10 part.2】

健康と福祉	チャレンジ 01 高齢者が安心して利用できる公共交通の充実 チャレンジ 02 シルバーいきいき応援券の汎用化 チャレンジ 03 特別養護老人ホームの充実	渡辺きくお プロフィール 中野小・南呂中・長野高校卒業。 北海道大学法学部を経てAN入社 令和4年市議会議員に初当選。 約50年の販賣店で市民の元を届ける。
子育て	チャレンジ 04 学用品や制服、修学旅行などの補助 チャレンジ 05 保育所の給食費無償化 チャレンジ 06 高等教育機関の誘致	
地域経済	チャレンジ 07 旧市街地の活性化 チャレンジ 08 スマート農業による持続可能な農業振興 チャレンジ 09 観光インフラの整備と観光収入の増加 チャレンジ 10 国内外の友好・姉妹都市との人的・物的交流	



渡辺きくお

投票日は4月26日(日)です

投票時間は午前7時から午後8時まで

◎投票用紙には、候補者の氏名を記入します。

中野市選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序はくじで定められたものです。)

責任世代が動く

全ての市民と共創する市政の実現

稼ぐ力

- 地域経済の継承と新たな活力
- 食と農のブランド力発信強化
- 若者が誇りを持って挑戦できる街づくり

支える力

- 切れ目のない子育て支援
- おせっかいが支え合う温かい地域福祉

守る力

- 市民と共創する透明性の高い市政運営
- 次世代に負担を残さないインフラマネジメント
- 千曲川・種井川および都市排水の治水対策



芋川 ひろし

芋川 嘉寛 (いもがわ よしひろ) [略歴]
 昭和 51 年 (1976)、中野市牛久保生まれ。高丘小学校、中野中学校、長野県高等学校を経て、日本大学法学部卒業。有限会社芋川(株)代表取締役。元北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会会長、信州なかの肉ランド実行委員長、日本大学校友会長野県北信支部運営幹事。



PR01 **子ども支援を惜しまないまちへ**
 ～出生前から保育まで「切れ目のない支援」を本気で実現～
 ▶不妊治療の助成 (交通・宿泊費) など、経済的負担の軽減
 ▶児童虐待の拡充など、虐待を支援する体制を整備

PR02 **物価高でも安心して暮らせるまちへ**
 ～生活インフラと暮らしの支援～
 ▶子育て世帯の住まい支援
 ▶家族応援の電子マネーポイント還元キャンペーンを実施

PR03 **ともに支える、いのちの現場**
 ～医療・介護・保育の担い手を守る～
 ▶市と医療・福祉現場で連携して人材確保に取り組み
 ▶奨学金返済支援や、地元就職資金の創設

PR04 **市民の声が届く、市政へ**
 ～若い力が、まちを動かす～
 ▶議会の議論や政策決定をわかりやすく可視化・発信
 ▶市民と定期的な意見交換できるミーティングの開催

PR05 **中野の農業を次世代へ**
 ～地域の食と食文化を守る～
 ▶若手就農者が安心し、やりがいを感じ
 (住まい・機械・研修など)を一括的に支援
 ▶農業インター制度やマッチング制度で「始めやすく・続けやすく」



あべ 眞

41歳

子どもファースト、中野。

「この地域はこの先どうなるのだろうか。」
 医療・介護の現場で働くなかで抱いた、その不安こそが私に政治に向き合う原点です。現場の声を政治につなぐ存在が必要だと強く願いました。対決ではなく解決を優先し、子どもや若者が育る街の中野市を誇りたい。私は市民のみなさんと対話を重ね、その声をつらねてつなぐ政治をしています。未来を守る行動を、今の中野から進めていきます。

あべ 眞 PROFILE
 ▶中野市竹原に生まれ、看護師20年
 ▶看護師免許 ▶はり師・きゅう師免許
 ▶小学校教諭(高学年) ▶中学校教諭(高校卒業後)
 ▶佐久総合病院看護専門学校卒業、看護師免許取得
 ▶北信総合病院にて内科・外科・小児科病棟に勤務
 ▶信州大学第一看護専門学校卒業、はり師・きゅう師免許取得
 ▶埼玉医科大学 医学部看護学専攻にて活動
 ▶大手大学(通信)現代社会学部に入學
 ▶政治・経済・法律を学ぶ現役学生、7歳の子を育てる一児の父

国民民主党 公認

熱意と機動力・現場第一!

皆さんと共に、地域の課題に全力で取り組みます

- 基幹産業「農業」の振興と発展により、持続的に稼げる元気な地域づくり、スマート農業、荒廃農地および鳥獣害対策の推進、新規就農・移住・定住を促進します。
- 人口減少時代の、地元経済と地域活動の活力増強対策に取り組みます。
- 歴史・観光・文化と緑のふれあう拠点として、東部地域一帯の環境整備に努めます。
- 頻発する自然災害に強い地域づくりのために、治山治水対策をはじめ生活道路の整備を促進します。
- 若者の子育てと結婚支援、子供たちのにぎやかな声とお元気な老人がかつ歩する安全・安心・健康な地域づくりを目指します。

— ご支援よろしくお願ひ申し上げます —

- 須賀高校・千葉大学園芸学部卒
- 元・長野県農業委員会協議会会長
- 元・中野市青年部委員長
- 現・南部えのき五輪センター代表理事
- 元・中野市消防団第2分団団長
- 現・中野市議会議員(2期)
- 元・中野市農業委員会会長
- 現・中野市監査委員



中村 ひでと

実績で選ぶなら **笠原 ゆたか**

これまでの実績

- 県内初！中・小中学校の給食費無償化で子育て世帯を支援！
市立全11の中・小中学校の給食費無償化を実現し、物価高騰が続く中、年額約3,000円～75,000円の保護者負担を軽減しました。
- 物価対策として商品券配布と水道基本料無料化を推進！
交付金を活用した「地域を支える品券」の配布を県下一早く実現！さらに6月から水道基本料金が4カ月無料になりました。
- 帯状疱疹ワクチン接種費用の補助を実現！
基礎疾患のある60～64歳及び65歳以上高齢者ごとに、ワクチン接種の補助が実現しました。

これからの政策

- 教育環境の充実化
中・小中学校の授業料を減らし、給食費を減らすことで保護者の負担を軽減し、子育てしやすい環境を整えます。
- 若者の居場所作り
コミュニティセンターを整備して、若者が集える場所を確保し、地域を活性化させます。
- 防災・安全対策
防災・避難訓練を強化し、防災意識を高め、安全なまちづくりを進めます。
- 地域交通の利便化
バス路線の延伸や、タクシーの導入などにより、交通の利便性を高め、地域を活性化させます。

皆様の声を市政に届けます!



笠原 ゆたか

未来に羽ばたく地域づくり

土屋 ひろしの3つの思い

- ① **未来に 高齢者の未来に安心を**
健康長寿が第一。福祉、介護、医療の充実を、シニアが生活しやすい街に。
高齢者・福祉・介護現場からの声を大切にします
- ② **羽ばたく これから羽ばたく子供たちに**
子育て支援充実・子供たちが安心して遊べる公園整備・生活困窮世帯のバックアップ (パラ公園遊具拡充等)
子育て世代の声を大切にします
- ③ **地域づくり これからも中野市で安心安全に、そして産業が発展する街に**
防災、減災への取り組み・危険な道路などの補修、整備・商業、農業の活性化支援・産業従事者の高齢化対策支援
地域住民の声を大切にします

経 1952年(昭和27年)3月22日生まれ 74歳
 1972年 長野県農業技術専門学校(現長野県農業大学校)卒業
 1972年 一宮市公職員
 2016年～中野市農協代表理事
 2022年～中野市議員(2022年～)
 2012年～中野市農協理事 農業従事 (2012年～)



土屋 ひろし

東江部区・西江部区・泉区 推薦

中野市に活力を!

小川 たかやすの政策

- ① 「中野市に住んでよかった」と思える地域づくり
暮らしやすさの積み重ね、生活満足度を着実に上げていく。
- ② 「元気な中心市街地づくり」
中心市街地から、まち全体へ人の流れをつくり、商機を育てる。持続可能な中心市街地を目指します。
- ③ 「農地を次の担い手へ」
農地荒廃を防ぐ「つなぐ仕組み」データ化・マッチングを円滑にし、新規就農者にも門戸を広げる。農地は地域の財産です。
- ④ 「子育てしやすい中野市へ」
子どもを安心して産み、育てられる環境。働きながら子育てができる支援。教育・医療・住環境の充実。
- ⑤ 「長生きがうれしい街づくり」
聴こえを支え、人とのつながりを支える。「孤立を防ぐ」支援として補聴器購入への支援制度の実現へ。

小川 たかやす選挙事務所 中野市江部 104番地 責任者:長島 克己



小川 たかやす

投票日に投票できない方は、期日前投票ができます

- ◎中野市役所 2階 多目的サロホール
4月20日(月)～4月25日(土) 午前8時30分～午後8時
- ◎豊田庁舎 1階、北部公民館 1階、西部文化センター(西部公民館) 1階
4月23日(木)～4月25日(土) 午前9時～午後7時
- ◎ユーパレット中野西店駐車場
4月24日(金) 午前9時～正午
- ◎イオン中野店 1階フードコート
4月24日(金) 午後2時～午後7時

令和八年四月二十六日執行 中野市議会議員一般選挙公報

中野市選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序はくじで定められたものです。)

★守る、支える、育てる、中野市へ★

- ・高齢者と若者が支え合う中野市へ、
- ・子育て世代にもっと安心を、
- ・千曲川、菰井川、水害対策を前へ、
- ・子供の「やってみたい!」を応援、
- ・地域の力を次の世代へ、
- ・学力、スポーツの環境の充実、

子育てにやさしく、高齢者にあたたかい中野市。



羽田 かずみ

豊かさを実感できるまちづくり!!

長年にわたる取材記者経験と思いを市政に



木村 よしたか

- ☆ 少子高齢化、人口減少社会における
 - ・高齢者にやさしいまちづくり・子育て環境充実のまちづくり
 - ・若者が住みやすいまちづくり
 - ☆ 小学校の適正規模学級の実現
 - ☆ 農業を中心とした地域産業の振興
 - ☆ スポーツ振興による交流人口の拡大
 - ☆ 議会改革の推進
- 経歴 元 北信口一カル編集長 元 中野ロータリークラブ会長 元 北大熊区長 元 延徳治水会長

8つの目標

1. まちなかの賑わい創出への取り組み
- 2.働く者にやさしいまちづくり
3. 高齢者・障がい者にやさしいまちづくり、公共交通機関を護る取り組み
4. 子育てにやさしいまちづくり
5. 人権・環境のまちづくり
6. 文化の薫るまちづくり
7. 農業振興・商工業者の活性化
8. 中野市財政をチェックします

目指すは 優しい中野市の創造

行政経験を活かします!!

私の約束

私は8年前に中野市議会に議員をいただいた。8年間母国議員会において質問を、市民に対して政策提議をさせていただきました。その中で私の議会での経験の大きな柱は、人口減少対策です。人口減少は、当然中野市だけでなく日本全体とわけて地方の大きな課題です。多岐中には中野市の人口は4万人を超える予想になっています。そして、市の財政も1割に減少することが決定されました。このことは出生率の低下や高齢化が予想される中で決定です。しかし、人口減少対策は、やることばかりではありません。中野市は、東京(圏外)圏から遠く離れた(遠く)で、住みやすいまちづくりに取り組んでいます。このメリットをさらに以上にアピールを行い、人口減少のストップをできることを目指します。そのためには、これまでの出生率の経験や提案を、これからは人口減少対策を活動の大きな柱として以下のまちづくりの取り組みをしたいと思います。また、市の財政について、自身の行政経験から、チェック機能を実行していきます。



中村 あきふみ

あなたとともに、地域のつながりを取り戻すために～誰も孤立させない中野市へ



まつき 純子

高齢化と人口減少が進む中野市で、まず守るべきは、「誰もが安心して日々の暮らしを続けられる環境」ではないでしょうか。市政には、その暮らしの基盤をしっかりと支えることが求められています。

一方で、美術館などの大型公共施設の建設には、建設費に加えて長い年月にわたる維持管理費が必要になります。将来の市民のみなさんに過度な負担を残さないためにも、こうした事業は丁寧に検討していくことが大切だと考えています。

1 地域のつながりを取り戻し、誰も孤立させないまちに

コロナ禍で弱くなってしまった地域のつながりを、もう一度あたかく結び直したいと考えています。子ども食堂や居場所づくりなど、地域の強さを広げる取り組みを、議会の立場からしっかりと支えていきます。

2 子どもから高齢者まで、安心して暮らせる仕組みを

子育てから介護まで、どの世代も安心して暮らせるよう、必要な支援がきちんと届く市政をめざします。

3 行政の透明性を高め、市民が尊重される市政へ

市民のみなさんの声を丁寧に受け止め、情報公開を進めながら、納得できる市政運営が行われるよう取り組みます。

私の思い

☆ 多様な市民が「ここにいたい」と思えるコミュニティを育てたい

地域の安心から、世界の平和へ。そんな願いも胸に、歩んでいきます。

健幸(けんこう)な中野市へ

とんどこころ陽子が大切にしている4つのこと

- 1 子どもの育ちを支える教育環境へ
- 2 安心して安全な食料で給食を提供
- 3 予算を徹底的にチェックし、透明性を高める
- 4 地域コミュニティで赤ちゃんと高齢者まで交流の場を開拓へ

3 農と食と健康でまちの活性化へ

新規就農者や農家の支援

中野市に特化した新しい農産物・産業へ新しい販路を、中野市全体で開発

寄りまで交流の場を開拓へ

近所のコミュニティで食料を親睦へ

地区活性化で広い年代層と交流へ

元小学校教師、地域活動で子ども教室主催経験。長野県善光寺五色百人一首大会主催経験。現在、農家・カフェ店主・食育アドバイザー



とんどこころ陽子

発展の中野市



高見澤 正義

自然豊かな北信濃に位置する中野市。誰もが誇れるふるさと、活気溢れる中野市を皆様と共に創ってまいります。

しかしながら、現実を目を向けてみると、農業従事者の高齢化・若者の農業離れ等々により、手入れの行き届かない農地が市内各所に目立つようになってきました。そこで、私は次のような農業振興施策を市民の皆様にご提案したいと考えております。

令和の農地改革

- 1) 遊休農地の貸借を売買に … 後継者・相続・荒廃の不安を解消
- 2) 畦畔撤去による圃場拡大 … 大型農機による無人耕作導入推進
- 3) 農業法人設立支援 … 雇員確保・移住者誘致・永続可能農業へ
- 4) 農業・商業施設の誘致 …… 農産物直売所・模型直売所・等々
- 5) 遊休所兼大型駐車場の設置 …… 公園・ドッグラン・等を併設

中野市議会議員一般選挙

投票日 4月26日(日)

未来をつくる、その一票

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序はくじで定められたものです。)

令和八年四月二十六日執行

中野市議会議員一般選挙公報

中野市選挙管理委員会



高橋 ゆきじ

元高社中学校PTA会長
元中野西高等学校PTA会長
前中野市農業協同組合 理事

☆きらめく中野市 ときめく暮らし 政策を前へ！

- 一、次の世代へ繋ぐ農業の振興と発展
 - ・遊休農地解消・新規就農と移住定住の促進
 - ・気象災害支援・地産地消環境保全型農業を推進
- 一、子供から高齢者まで笑顔で暮らせる地域づくり
 - ・子育て支援・不登校児童の教育支援・介護・福祉の充実
- 一、市民が参画出来る行政の運営を進めます
 - ・立案計画決定までのプロセスを見える化
- 一、中野市の防災の拠点づくり
 - ・岳南広域消防組合事業・鳥獣害対策の組織づくり
- 一、北部地域の新たな展望の模索
 - ・笠倉壁田植圃周辺整備事業・市道有田壁田植圃の早期実現
- 一、古牧橋の架け替え建設促進



江口 よしみち

中野市！未来へのアップグレード

◎ 隔々まで光を照らす
福祉・教育を第一に進めたい。

◎ 全国に誇れる中野市の農業は
基幹産業であり、その更なる充ちを願う。
それを原動力に、Uターン・移住の
促進、地域課題の解決を進める。

◎ 新幹線駅に近い北部地域を、
北の玄関口として発展させたい。

1. 福祉・教育

～隔々まで光を照らす行政

- ①キメ細かな弱者対策と子育て支援
- ②多様な教育の推進
- ③交通弱者の交通対策

2. 経済・産業

～若者が集まる魅力ある企業・農業

- ①農業王国樹立へむけて加速
 - ◎高収益作目の開発普及の農業振興研究開発事業の推進
 - ◎農業王国発展加速化事業(フーズetc.)の推進
 - ◎恒久広域電気橋の早期完成
- ②農商工の従業員確保のバックアップ
- ③交流人口の拡大

3. 行政・議会

～市民参画によりみんなで創る中野市

- ①災害に強いまちづくり
- ②オンラインプラットフォームによる市民参画
- ③議員定数の削減(20人→16人)



Nakano City UPGRADE for Future



松野 まつの
しげお

安心・安全な暮らしに 全力投球!

- 1 インフラ整備や交通弱者対策費等で暮らしを守ります
- 2 工期が延長された上今井遊水地関連工事の早期完成を目指し関係者と協議します
- 3 少子高齢化、過疎化対策は喫緊の課題課題を精査し 解決策に尽力します
- 4 農業は中野市の基幹産業 持続可能な「儲かる農業」を研究し提案します
- 5 市民の声を市政に届け課題を解決します



本田 まさよし

ほんた ほんそう 本田が奔走!

輝く故郷へ向け、本田が奔走します!!

通学路危険箇所の改修、改善を進め、児童生徒のみならず安全に登下校できるよう取り組みます!

子育て 安全安心な給食を安定的に供給できるよう取り組みます!さらなる子育て支援拠点施設の充実を図ります!!

高齢者 にやさしいまちづくり
シルバー応援券用途拡大、ふれAIタクシーに代わる、新たな高齢者移動手段の確立を目指します!

文化芸術 スポーツ振興

農産物や特産品の販路拡大 姉妹都市、友好都市との交流を活発化させよう目指します!

皆様の声を市政へ 地域で行われる現地調査等での要望を速やかに提案します!

一票の力を信じて 投票しましょう!

未来のためにみんなで投票!



中野市議会議員一般選挙 投票日 4月26日(日)

未来をつくる、その一票

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序はくじで定められたものです。)